

かごしま
木造住宅
コンテスト
2019



目次

02	「かごしま木造住宅コンテスト 2019」事例集の発行にあたって	
03	審査講評	
04	知事賞	知覧の家(南九州市)
08	会長賞	お茶の町の「和」の家(鹿児島市)
11	入選	下福元町の家(鹿児島市)
13	入選	加世田の家(南さつま市)
15	入選	枕崎の家(枕崎市)
17	入選	景色もご馳走のおうち(鹿児島市)
19	入選	種子杉の家(西之表市)

募集要領

審査委員	委員長	古川 恵子	(鹿児島女子短期大学名誉教授)
	副委員長	柴田 晃宏	(鹿児島大学大学院理工学研究科(工学系)建築学専攻准教授)
	委員	川口 利昭	(一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会副会長)
	委員	堂込 清文	(一般社団法人 鹿児島県林材協会連合会専務理事)
	委員	本房 美保	(公益社団法人 鹿児島県建築士会女性部会長)
	委員	松尾 浩一	(鹿児島県土木部建築技監)
	委員	守真 和弘	(鹿児島県木造住宅推進協議会会長)

募集対象 (全てに該当すること)

- 鹿児島県内にある住宅で、県内の住宅事業者が施工した軸組工法による木造住宅(混構造、併用住宅も可。)
- 木材の使用量が、次の①または②のいずれかを満たす住宅
 - かごしま木の家((ア) 及び (イ) の両方を満たす住宅)
 - かごしま材の使用量が10㎡以上
 - かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上
 - 認証かごしま材の家((ア) ~ (工) のいずれか1つ以上を満たす住宅)
 - 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上
 - 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上
 - 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上
 - 上記(ア) (イ) のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(ウ)における同材の実使用比の数値の合計が1以上
- 過去3年間(平成28年9月~令和元年8月)に完成・引き渡しされた新築住宅
- 過去の「かごしま木造住宅コンテスト」に未応募のもの

募集資格 施主・設計者・施工者・大工(棟梁)の4者の連名で応募。(連絡窓口の方を1名選定)

募集方法 以下の書類をそろえて募集先へ持参もしくは郵送

- 応募用紙
- 施主の要望と反映の方法、コンセプト
- 設計・施工のポイント、住宅のアピール等
- 配置図、平面図(兼ねても可)
- 写真(外観4枚以下・内観8枚以下)
- その他(アピールに必要な図面等)

募集締切 令和元年9月10日

主催 鹿児島県木造住宅推進協議会

後援 鹿児島県

「かごしま木造住宅コンテスト 2019」 事例集の発行にあたって

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島県の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の振興を図るため、また県民の皆様にも木造住宅の良さを広く知っていただくために2001年から2年ごとに実施しており、今回で第10回目となりました。

国や県においては、地域で育った木を活用した住宅が、森林環境の保全や地球温暖化の防止はもとより地域産業の振興においても波及効果が大きいことから、地域材を活用した木造住宅の普及促進が取り組まれています。

当協議会においても、県が提唱する「地材地建（地域で生産された木材・建材を使って、地域の大工・工務店等が住宅等を建設すること）」を推進しており、本コンテストは「かごしま材または認証かごしま材を一定量以上使用していること」を応募条件としています。

この作品集に掲載されている入賞作品は、鹿児島県で育った木の特性を活かし、住まい手のニーズやライフスタイル、省エネルギー性能などに対してもさまざまな配慮がなされた、心地よい住空間をつくるために、建築主、設計者、施工者、大工技能者等の関係者が協働し、工夫しながら完成された優れた住宅です。県民の皆様においては、この作品集がこれからの住まいづくりの一助となれば幸いです。

ご応募いただいた皆様方のご努力に深く敬意を表しますとともに、ご多忙のなか審議にご尽力くださいました古川恵子委員長をはじめ審査委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

当協議会では、今後とも、人にも地球環境にもやさしい快適な木の住まいづくりの普及に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和2年3月
鹿児島県木造住宅推進協議会
会長 守真 和弘

鹿児島県木造住宅推進協議会とは

鹿児島県の木造住宅の振興を促進するため、関係民間団体や関係行政機関などが結集して、従来の個人的な活動の範囲を超えて木造住宅の振興の諸活動を広範かつ長期的に実施していくことを目的として設立された協議会です。

協議会では、大工・工務店などの経営の近代化及び技術の向上、住宅建築の担い手の育成と定着・地位向上、在来木造住宅に対する県民の意識の向上などを通じて木材を中心とする地域住宅関連産業の活性化や地域に適した良質な木造住宅の建設推進等の活動をおこなっています。

鹿児島県木造住宅推進協議会会員

(公社)鹿児島県建築士会
(一社)鹿児島県建築協会
(一社)鹿児島県建築士事務所協会
鹿児島建築工友会
(一社)鹿児島県林材協会連合会
鹿児島県木材協同組合連合会
鹿児島県森林組合連合会
鹿児島県プレカット協議会
かごしま地材地建グループ連絡協議会
(一社)全国木造建設事業協会鹿児島県協会
鹿児島県町村会
鹿児島県
(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター
(令和2年3月現在)

審査講評

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島島の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の普及を目的に、平成13年から隔年ごとに催され、今回は第10回となります。

「鹿児島県産材の良さが実感でき、省エネや長寿命化を図り、子どもや高齢者が安心して暮らせ、周囲の街並みなどの景観に配慮した住まい」を募集した結果、14点の応募があり、応募要領を満足していることが確認されたことからその全てを審査対象とすることにしました。

施主、設計者、施工者、大工（棟梁）の4者が一体となって、より良い住宅づくりを目指された住宅を7人の審査委員で審査しました。一次審査では審査委員の討議と投票によって7点を選び、二次審査では、現地において建物と周辺環境を確認し、施主・設計者等の説明を聞いた後、一次審査と同様の方法で「知事賞」・「会長賞」・「入選」を選定しました。

知事賞に選ばれた「**知覧の家**」（南九州市）は、若い施主の「豊かな自然を感じながら和の落ち着いた佇まい」、「小さい子どもと共に使える家族の図書館みたいなコーナーを」という要望に応えた平屋の住宅です。敷地の広さや南の眺望を活かしたバランスの良い配置・外観デザインで、内部は全体的に採光・通風に配慮され、開放感のある居住空間です。スタディコーナーはDKと柔らかく接し、「思いのほか、子供たちはよく利用している」ということでした。障子等の木建具と県産のヒノキを使用した床・天井は、モダンな和の雰囲気成し、また、和室から居間、デッキ、借景の庭へと一体感のある心地よい空間となっています。

会長賞の「**お茶の町の和の家**」（鹿児島市）は、「祖父母が住んでいる昔ながらの和の家」、「家族と共に年を重ね、変化していく木造の良さを感じながら暮らせる家」という若い施主の要望を叶えた長期優良住宅認定を得た住宅です。周辺の景観に馴染んだ和の外観は、板塀と共に多くの人に親しみと懐かしさを感じさせるものであり、30cm角の大黒柱が目を引き明るいLDKの吹抜けの開放感や、木と漆喰等の材料との組み合わせの良さを多くの審査委員が高く評価しました。家庭菜園の7種類の野菜も立派に育ち、作業後、玄関から洗面所に直接行けるという特徴のある平面計画も納得できます。

入選の「**下福元町の家**」（鹿児島市）は、「カーテンなしでプライバシーが確保でき、かつ屋根付きの駐車場を」という若い施主の要望に応じた住宅で、道路に面する2階の大きな板壁が印象的な住宅です。木造住宅として挑戦的であり、木材活用の広がりにつながることや、降灰対策等メンテナンスへの配慮に対する評価の一方、2階の居室の視線に開放性がないこと、2階に便所がないことについて懸念する意見もありました。

「**加世田の家**」（南さつま市）は、90歳代の施主が、自分で育てた木をふんだんに使って建てた住宅で、思い入れが伝わってくる住宅です。天井が高く、広々とした感じが良いという審査委員の評価がありました。また、中廊下に面した居室の障子の下半分を無双窓にして通風を促す工夫や、ヤスデ対策は珍しいものでした。

「**枕崎の家**」（枕崎市）は、「故郷に帰って子育てをしたい」という若い施主の思いを受けて、住宅が密集した広くない敷地でありながら、建物を奥に配置した住宅であること、「公」と「私」が中庭と格子を介してつながり、夜は内部の光が外に漏れ地域との一体感がうかがえることが高く評価されました。勉強机として仕切れる多目的テーブルをLDKに設け、家事動線に配慮した間取りです。

「**景色もど馳走のおうち**」（鹿児島市）は、1階の浴室と2階のLDKのコーナーから桜島・錦江湾を眺望できるという立地を活かした開放的な住宅です。子ども室とLDKのある2階に便所がないことへの不安もありますが、木材を使用した外構を含む外観の雰囲気が良いという評価が多数ありました。

「**種子杉の家**」（西之表市）は、種子島ならではの季節風・日射・台風という厳しい自然環境に、防風林の竹林・板塀・盛り土や深い庇（土庇）で対応していること、子どもと一緒に時間をかけて家づくりをしたこと、また、応募の中で、木材の使用量が最も多く、しかも種子島産材に拘り、構造材・建具・家具に使用されたことが高く評価されました。今後大きく期待するところです。主寝室・子ども室等の名称の記載があった方が使われ方がイメージしやすかったと思われます。

最後に、ご応募いただきました方々の木造住宅への取り組みに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。今後とも、かごしまの木造住宅の発展にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



格子建具や障子で和の雰囲気演出
床と勾配天井には県産の檜を使用



『知覧の家』は建主が周辺の豊かな自然を感じられ、明るい家ではなく、うす暗い蔭の落ちる古民家のような雰囲気、白洲次郎邸「武相荘」等の和の落ち着いた佇まいを感じられる住宅が欲しいとの要望をもとに設計された住宅です。随所に散りばめられた和の意匠と、大開口上部にかかる大きな庇等で内部への入射光をコントロールし、古民家などが持つ静謐な内部空間を創出しつつ、プライベートエリアとパブリックエリアを分けた間取りなど、現在のライフスタイルに即した住まいとなっています。



植栽の見える窓と漆塗和紙の壁がアクセントに



漆和紙



奥の和室と一体につながるリビング
勾配天井の効果も相まって広々とした印象



大開口を開けば庭も一体となる



北側に和室を配置し入射光を抑え静謐な空間を創出



ダイニングには風景を絵画のように切り取る窓



日々変わってゆく風景



キッチンの奥にはスタディースペース

時の移ろい 四季折々を楽しむ

食堂からの大きな窓は、季節や気分で変わりゆく眺めを楽しみながら気持ちよく食事ができ、ご主人は趣味のお料理をしながらも、家族と風景を楽しめ、奥様は、床や天井に使用した檜が日々変わりゆく季節とともに経年変化し、色合いが飴色になっていく様を感じるのが大変好きだと笑顔でお話されました。木や珪藻土に囲まれた部屋は梅雨や夏でも湿気を感じず、冬も断熱がしっかりされているので温かく快適に過ごせるとのこと。

1年、2年と過ごすうちに味わいが深まっていく材料に愛着が湧き、これからも大事に住み続けたいと語られる気持ちにもうなずける素敵な住まいです。



和室の奥をアール状の低い天井にすることで
茶室のような落ち着きも



コテムラをつけた珪藻土の壁は
光の当たり方で様々な表情をみせる



設計 / 株式会社 小森昌章建築設計事務所
小森 昌章 さん

一文字瓦の棟が交差する屋根のある平屋を提案。外観は明るい山吹色の土壁に付け柱を設けた。

間取りは玄関近くに客間、続いてLDK、その奥に子供部屋や寝室を配置。キッチンの隣に気配が感じられる程度の壁で仕切られた読書スペースを設け施主の要望に答えている。

玄関の格子戸をあければ漆塗り和紙の壁やコテムラをつけた珪藻土の壁、檜板張りの勾配天井のLDK、居間には庭と一体となるように引き込まれる大開口の窓など、いずれも和の雰囲気を感じられる住宅としている。



四季折々の表情をみせる庭



一文字瓦がリズムよく配置された屋根



和の落ち着いた佇まいが感じられる外観



平面配置図 S=1:300


DATA

平屋建て
平成 30年 4月 完成
敷地面積：1502.80㎡
建築面積：141.54㎡
延床面積：131.01㎡

募集条件への適合状況					
かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	-
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-

会長賞 お茶の町の「和」の家

かごしま
木造住宅
コンテスト
2019



建主の希望は、祖父母が住んでいる昔ながらの「和の家」でした。50・60年後に、孫、ひ孫にこれが「平成のかごしま和の家」だと自信を持って言える家、家族と共に年を重ね、共に変化してゆく木造りの家の良さを感じながら、末永く安心して暮らせる家づくりでした。その希望に沿い、真壁造りなど「和」の意匠を表現し、木の表情を生かしたプランとなっています。木をたくさん使うことで、意匠がくどくなりがちですが、白の壁と木の表情を絶妙なバランスで配置し「和」を感じながらもスッキリとした現代的な空間とし、耐震・断熱にも考慮したまさに「かごしま木造住宅を代表する平成の和の家」となっています。

大きな断面の柱、梁と化粧垂木と化粧野地板に囲まれた開放的な勾配天井のLDK
家の中心に位置するLDKからは家族の気配が常に感じられます

受賞の
コメント



設計 / 株式会社 建築工房 匠
福迫 健さん

良質の木材を使用し、大径の柱・梁、化粧垂木、化粧野地板等「和」を代表する意匠を保ちつつ、お施主様の費用負担を少なくするよう木材は丸太から購入し、化粧材を拾い出し使い回し可能大きさに統一、製材加工するなど工夫をし、かつ耐震・断熱性も性能に優れた長期優良住宅（耐震等級3・BELS評価UA値0.59）に対応した「かごしま木造住宅を代表する平成の家」を提案しました



家の中心は笑顔が集まるLDK



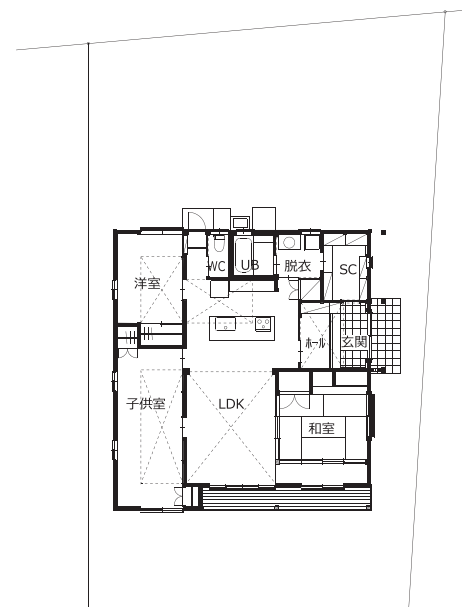
シューズクロークとつながった洗面所

大きな大黒柱に守られた、安心・安全・快適な住まい

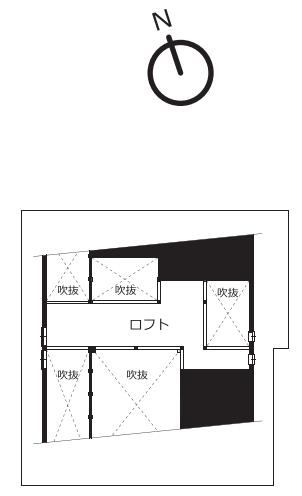
建主と設計者をつなげたのは一軒の木造住宅でした。建主が住宅の購入を検討していた際、偶然見つけた木造住宅。その住宅に一目ぼれをした建主は、設計者を探し「和」の家の設計を依頼、プランも設計者におまかせしたそうです。家庭菜園の好きなご主人、子供たちが庭で遊んで汚れても、玄関から洗面所に直交できる間取りであったり、卓越風・奥行きのある軒・昼光利用・断熱を意識した家づくりで夏涼しく冬も暖房がいらなくらい暖かい快適な住空間。何よりもお気に入り、大きな断面の柱、梁に守られたLDK。寝転がれば開放感のある木に囲まれた空間が大好きとのこと。親戚、友人を招けば羨まれる住空間に大変満足と笑顔で話されました。



30cm角の大黒柱は抱えるほどおおきい



1階平面配置図 S=1:300



小屋平面図 S=1:300



天窓からの光が差し込みで明るいキッチン



落ち着いた空間を創出する深い軒の縁側



DATA

平屋建て
平成 30 年 11 月完成
敷地面積：422.50 m²
建築面積：112.58 m²
延床面積：103.23 m²

お茶畑の中に建つ「和」の家は周囲の景色になじみ近所にも大好評



建主と設計者が共同作業で作上げた素敵なアプローチ

募集条件への適合状況			
かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準	
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	○
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	○
		(3) 造材材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	○
		(4) 上記(1) (2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	○

入選 下福元町の家

鹿児島市
設計 / 株式会社 酒井建築事務所
施工 / 株式会社 ブルケン・ウェスト鹿児島営業部
棟梁 / 迫 和己



分譲されたばかりできれいな最新住宅が立ち並ぶ土地の一角に建つ『下福元町の家』。住宅地に足を踏み入れれば、周囲の住宅とは一線を隔したデザインに目を奪われます。新しく越されてきたご近所の方にも、「この建物は住宅なのか」と訊ねられるほどだとおっしゃいます。それは、ほかの住宅とは違うデザインを望んだ建主の理想どおりです。そのデザインの肝になっているのは、南側に1.82m跳ね出した木板張りの一枚壁です。「カーテンをしなくてもプライバシーの確保ができるもの」という要望から、開口のない一枚壁で周囲からの視線を遮りつつ、上部から南側からの良好な自然光を取り入れ、リビングを拡張し緩やかに室内外をつなげる魅力的な中間領域を創出しています。また、降灰の汚れ・詰まりを抑えるためシルバーの外壁、雨どいを設けないことでメンテナンスフリーとすると同時に、建物外観にシャープな印象を与えることにも寄与しています。

室内外をつなぐ中間領域を創出



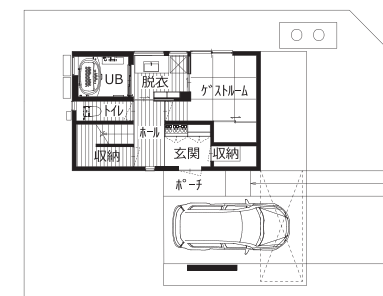
全開口の引込戸で室内とテラスが一体となる



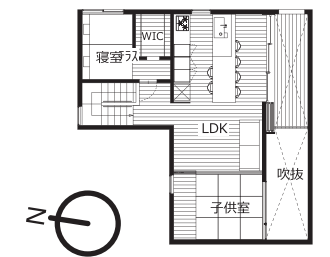
アペリアで造作されたキッチンカウンターと一体になったダイニングテーブル



将来間仕切り可能な子供部屋
勾配天井で開放的に



1階平面配置図 S=1:300



2階平面配置図 S=1:300



昼の様子とは一転、バーのような雰囲気

室内は、白い壁に木の天井と床などがアクセントになった空間に、中間領域から柔らかな光と風が舞い込むさわやかな住空間となっています。建主のお気に入りだというダイニングのオリジナル照明は夜はバーのような空間を演出し、友人を招いたり、夫婦でお酒を飲むのが楽しいと話されました。外部、内部共に建主の理想を体現した住まいとなっています。

DATA

2階建て
平成30年3月完成 建築面積：57.97㎡
敷地面積：203.10㎡ 延床面積：99.36㎡



募集条件への適合状況				
かごしま木の家の基準	認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	-
	(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-

入選 加世田の家

南さつま市
設計 / 有限会社 ゆうあいプラン
施工 / 住まいる 玄
棟梁 / 高吉 辰典



天井高3メートルの開放的で明るい生活空間



無双窓でプライバシーを守りつつ、風の通り道を確保



高窓で明るく広々とした玄関先でお喋りも



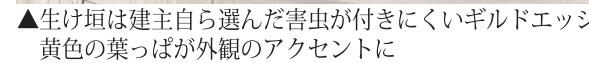
リビングからはキッチンが見えにくい配置



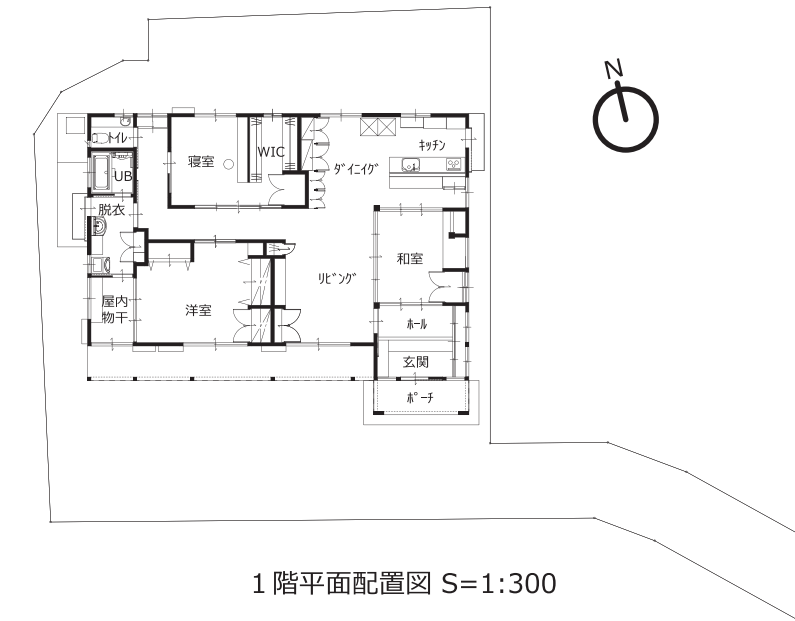
8寸の大黒柱は樹齢140年の檜



▲ダイニングテーブルの脚部分は焼耐柵



▲生け垣は建主自ら選んだ害虫が付きにくいギルドエッジ黄色の葉っぱが外観のアクセントに



1階平面配置図 S=1:300



DATA

平屋建て
平成29年 9月完成
敷地面積：387.00㎡
建築面積：162.10㎡
延床面積：143.48㎡

内部建具の腰部分の無双窓は、引き戸を閉めた状態でも開閉でき、プライバシーを保ちつつ通風を確保できる造りになっていたり、収納スペースを多く配置し、柵板をスライド式の可動柵にしたり、造作テーブルの脚部分を焼耐柵にしたりと細かい気配りが行き届いた設計は、機能的な面で建主の要望に応え、木の安らぎの空間とともに日々の快適な生活を支えています。

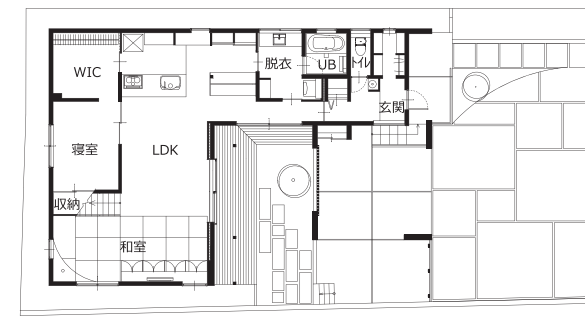
募集条件への適合状況			
かごしま木の家の基準	認証かごしま材の家の基準		
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上 -	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上 ○
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上 ○	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上 -

入選 枕崎の家

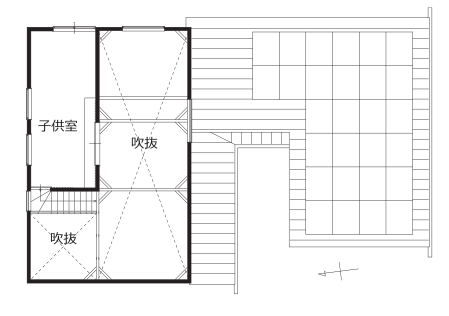
枕崎市
設計 / 株式会社 ベルハウジング
施工 / 株式会社 ベルハウジング
棟梁 / 迫 薫



▲キッチンからウォークスルークローゼットへ ▲洗面脱衣室はランドリールームを兼ねる ▲勾配天井の秘密基地のような子供室 吹抜越しに1階とコミュニケーションがとれる



1階平面配置図 S=1:300



2階平面配置図 S=1:300



縁側のようなウッドデッキは、家の中と外をつなぐ中間領域。長い庇で雨が降る日も窓を開けて雨音や木の香り、そして四季の変化を楽しみながら生活できる空間です。その居心地の良さに加え、水廻りを一直線上に配置し、その延長線上にウォークスルークローゼットを備え、キッチンの隣に設えたカウンターはお子様遊び、学ぶスペースになり、2階の子供室とは吹抜を介してつながり、家族の気配を常に感じることができ、共働きのご夫婦の家事の負担軽減や子育てに配慮されています。



DATA

2階建て
平成29年9月完成
敷地面積：271.57㎡
建築面積：124.62㎡
延床面積：132.49㎡

募集条件への適合状況					
かごしま木の家の基準	認証かごしま材の家の基準				
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	○	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	○
	○	(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	○	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	○



▲季節移ろう中庭を眺めながら、ゆったりとした時間をすごせるリビング・ダイニング

▲吹抜とLD、和室、ウッドデッキがフラットにつながり家族と仲間が集まる笑顔あふれる開放的な空間に

枕崎市で育ったご主人が故郷に帰って子育てをしたいという想いから、地域のお手本となるような快適で健康的で豊かな暮らしが出来る美しい家づくりということで設計された住宅。外観は、建物と道路の距離をとることで、地域にゆとりを与え、水平・垂直ラインを強調した端正なデザインが、古い町並みに溶け込みながら、新たな美しく豊かな暮らしを長期間にわたり持続するデザインとなっています。内部のフラットな和室と一体化したリビングは、家族や親しい仲間が憩う場所。「ウッドデッキまで開放的に使えるので、約40人が集まったこともあります」とご主人。これだけ開放的なデザインですが、ZEHの基準をクリアし、さらには長期優良住宅の認定も取得しているので、安心安全、快適に末永く住みつがれ、地域と人をつなげる住まいとなっています。

入選 景色もご馳走のおうち

鹿児島市
設計 / ヤマサハウス 株式会社
施工 / ヤマサハウス 株式会社
棟梁 / 田嶋 経助



高台へと上がる坂の途中にあり、眼下には鹿児島市の町並みとその先には錦江湾に浮かぶ桜島が見える。そんな絶好のロケーションに建つのが「景色もご馳走のおうち」。「家を建てるなら桜島が見える場所が譲れない条件」という建主の思いが詰まっています。雄大な眺望を生かすべく、2階を家族が集まるワンフロアのLDKにし、構造的に可能な限り配置した大小の窓が、様々な風景と光を室内に取り込んでいます。木の温もりあふれる空間で、朝日に目覚め、夕映えを楽しむ。そのような、桜島と共にある暮らしが建主の理想を実現しています。

白いシラス壁に鹿児島県産木材の構造材が映える住空間



ダイニング・デスクからの眺望



小屋裏のロフトと鹿児島県産木材の構造表しの勾配天井

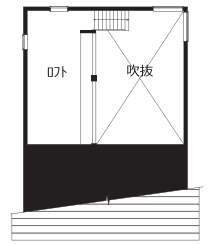


湯船につかりながら桜島を眺める贅沢な時間

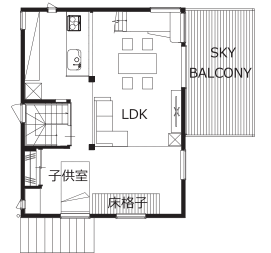


▲玄関土間から続く和室
小上がりに腰かけてお客様とおしゃべりも

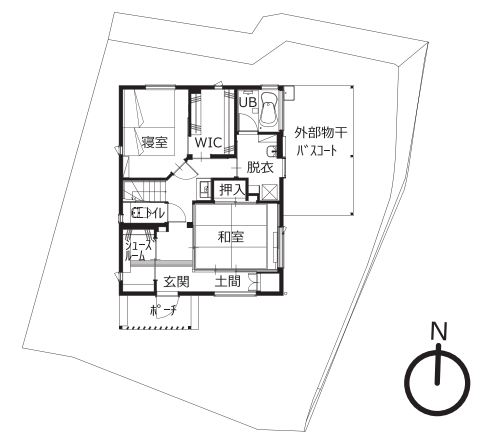
自然の恵みを最大限に活かすパッシブデザインを採用し、木材やシラス壁などの自然素材を多用した肌触りの良いシンプルな空間に仕上げ、「居心地良く眺望を楽しむ」ことができます。また、高断熱・高气密、ZEH対応などの性能の高さで、快適な住環境を創出しています。加えて、ライフスタイルの変化に応じて自由に間取りを変えられる「スケルトン・インフィル工法」も採用しているので、長く快適に住継いでいけるお住まいとなっています。



小屋裏配置図 S=1:300



2階平面配置図 S=1:300



1階平面配置図 S=1:300



DATA

2階建て
平成 29 年 11 月完成
敷地面積：187.14 m²
建築面積：69.84 m²
延床面積：105.73 m²

募集条件への適合状況			
かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準	
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上

入選 種子杉の家

西之表市
設計 / DORON建築設計事務所
施工 / 山下建築
棟梁 / 山下隆



スタディールーム

玄関ホール

読書室



建主自らが焼いた焼杉を壁材に

家具になる

天井・柱になる



木のぬくもりがあふれるLD
建具も家具もすべて種子島の木



中庭からリビングを眺める



深い庇の濡れ縁



山に入り伐採に立ち会う



1階平面図

ロフト平面図

種子島は、夏は台風と強い日差し、冬は北西の季節風と向き合うこととなります。敷地の北西に広がる竹林の天然の防風林に加え、周囲に盛土、板塀を立て防風対策とし、建物は北西に背を向けたL字型にし、南・東側は深い庇に覆われた濡れ縁を設け、室内には、板塀に囲まれた中庭から大開口を通してゆったりとした風が通り抜ける種子島の気候に則したプランとなっています。地元の木を用い、その地の気候風土に適した「地材地建」の住まいです。

DATA

中2階建て	平成31年 3月完成	建築面積：185.49㎡
敷地面積：727.16㎡	延床面積：163.10㎡	

北西の防風林と盛土、板塀に守られた住まい

募集条件への適合状況			
かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準	
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上

かごしま 木造住宅 コンテスト 2019

知事賞

知覧の家

設計 / 株式会社 小森昌章建築設計事務所
施工 / 株式会社 九大建設
棟梁 / 西 和隆



会長賞

お茶の町の「和」の家

設計 / 株式会社 建築工房 匠
施工 / 株式会社 建築工房 匠
棟梁 / 雪丸 浩好



入選

下福元町の家

設計 / 株式会社 酒井建築事務所
施工 / 株式会社 ブルケン・ウェスト鹿児島営業部
棟梁 / 迫 和己



入選

加世田の家

設計 / 有限会社 ゆうあいプラン
施工 / 住まいる 玄
棟梁 / 高吉 辰典



入選

枕崎の家

設計 / 株式会社 ベルハウジング
施工 / 株式会社 ベルハウジング
棟梁 / 迫 薫



入選

景色もご馳走のおうち

設計 / ヤマサハウス 株式会社
施工 / ヤマサハウス 株式会社
棟梁 / 田嶋 経助



入選

種子杉の家

設計 / DORON建築設計事務所
施工 / 山下建築
棟梁 / 山下 隆



事務局 / 鹿児島市新屋敷町 16 番 228 号
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター内
TEL : 099-224-4543

ink

R100